

りゅうおう 議会だより

No. 157
2011.10.15

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



豊作を願って…

条例改正・補正予算	エコ軽四・LEDに補助	2
	水道事業会計決算	2
意見書	①免税軽油 ②原発問題	3
	委員会活動	4
一般質問	6議員が13問	5~9
いきいき人生	友實 富義さん	10
差し込み	第15期 竜王町議会職務一覧表	

八月定例会

エコ軽四・LEDに補助

平成23年第3回定例会は、第14期竜王町議会議員の任期が9月30日までであることから、8月18日より8月30日の13日間開催されました。

提案案件は条例制定1件、条例改正3件、平成23年度一般・特別各会計の補正予算4件、平成22年度水道事業会計決算認定1件、町道路線の認定および変更各1件、平成22年度健全化判断比率、平成22年度資金不足比率の報告2件、人事案件4件で、全議案、原案通り「可決・認定・同意」しました。

また「免税軽油制度の存続を求める意見書」・「エネルギー政策の抜本的見直しを求める意見書」の2件を賛成多数で国会および政府に提出することになりました。

暴力団 利用・協力・交際 しません

「暴力団を利用しない」・「暴力団に協力しない」・「暴力団と交際しない」の三つの基本理念を定めた「竜王町暴力団排除条例」が提案されました。

条例では、暴力団の排除を推進し、町民生活の安全と平穏を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与するために町の責務、町民等の役割を明らかにしています。

総務産業建設常任委員会での質疑では

問 民間の温泉・風呂等には「入墨をされている方はご遠慮ください」などと表示されているが、町の施設などにも同様に表示できないものか。

答 警察にも相談しましたが、公の施設では制限できません。

問 暴力団排除の条例を制定していることがわかるステッカーなどを貼りだしてはどうか？

答 「暴力団排除条例制定のまち」というステッカー

を作つて、施設に貼ることを検討しています。

エコ軽四輪の税、減免

電気自動車やハイブリットカーなど環境に負荷の少ない軽自動車の購入を促進し、地球温暖化対策、燃料枯渇防止、低酸素社会等の実現を進めたいとの考えから、平成23年9月1日から平成26年4月1日までに初年度登録を受けた軽四輪自動車のうち、竜王町で軽自動車税が課税されているもので条件を満たすものについ

て、軽自動車税を申請により減免するものです。

一般会計補正予算

一般会計の補正予算は歳入歳出それぞれ2,202万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ49億4,704万4千円に改めるもので、主なものは以下の通りです。

*地域グリーンニューディール基金交付金	3,840千円
*しが地域支え合いづくり促進事業交付金	4,345千円
*前年度繰越金	1,525千円
歳出補正予算の主なもの	
*総合庁舎維持修繕事業	4,530千円
*生活支援事業	3,221千円
*地域生活支援事業	2,688千円
*環境衛生費・一般管理	1,294千円
*予防接種事業	1,358千円
*道路橋梁維持補修事業	1,000千円
*防災資機材整備事業	1,681千円

補助します。上限は3,000円で総額400万円の予算です。事前に申し込みが必要です。

水道事業会計 決算認定

基本となる給水戸数は32戸増加して3,759戸。配水量は年間193万8,069立方メートルで前年度より24万4,725立方メートル増加しています。

配水量が14・5パーセント増加し、県水の単価が13・54円下がったため、水道事業費は2億8,362万7,433円となり前年度比472万8,058円の増加となりました。

経常利益は2,627万5,758円となり、昨年と比較すると1,234万3,838円増加しています。

その要因は、大型商業施設などへの給水増によるものです。

第三回(八月)定例会・意見書

	平成22年度実績	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率(%)	- (△7.23)	15.0	20.0
連結実質赤字比率(%)	- (△16.15)	20.0	40.0
実質公債費比率(%)	19.3	25.0	35.0
将来負担比率(%)	128.2	350.0	

財政の健全化 判断比率

法律の規定により竜王町の財政状況が公表されました。

財政の健全化は4項目で示され、各項目の早期健全化基準と平成22年度実績は別表の通りです。

町の財政が公表されました

平成22年度竜王町健全化判断比率では、実質赤字比率及び連結実質赤字比率においては、それぞれ赤字額が発生せず該当なしとなり、実質公債費比率については、早期健全化基準が25%に対して19.3%となりました。

将来負担比率は、早期健全化基準が350%に對し128.2%でした。

平成22年度竜王町資金不足比率については、決算数値に基づき算出した結果は、水道事業、下水道事業とも資金不足が発生せず、該当なしとなりました。

町道認定 仁殿線

岡屋の県有地での事業推進を図るために、滋賀県と滋賀県土地開発公社が(仮称)竜王岡屋工業団地の幹線道路として位置づける道路を町道とし

て認定するよう要請されたものです。

祖父川の岡屋中橋北詰から国道477号の仁殿池にほぼまっすぐつながった道となります。

町道変更認定 林薬師線

林から加与丁、島を通り、薬師につながらる町道での加与丁地先の一部が路線変更されます。

「若者定住」を推進するための住宅施策として、集落周辺に住宅建設用地を確保するため、加与丁の外周に町道路線の一部を振り替えるという変更を認定するものです。



路線変更された加与丁地先の町道

意見書を提出しました

これまで農家の経営に貢献してきた免税軽油制度が、来年3月で廃止される。

この免税軽油制度は農業生産者の経営にとって大きな援助制度となっていた。

この免税軽油制度が無くなれば、今でさえ困難な農業経営に更なる負担を強いられることになり、農業経営への影響は深刻になる。

免税軽油制度の存続を求める意見書(要旨)

また、農業だけでなく、漁業や林業、倉庫業など地域全体の経済にとっても、大きな影響を及ぼす。

地域農業の振興と食料自給率を向上させる観点からも有効であることから、国においては、免税軽油の制度を継続するよう強く要望する。

今年3月の東日本大震災は東北地方を中心に多数の人命が奪われ、東京電力株式会社福島第1原子力発電所の事故は、いまなお深刻な事態が続いている。

今回の事故は、原子力発電がいかに危険なものであるかを明らかにした。それは、そもそも原子力発電技術が本質的に未完成であるがゆえに放射性廃棄物の処理方法が確立されていないこと、また、日本が世界有数の地震・津波国であるにも関わらず原子力発電所建設が推進されてきたことによるものである。

エネルギー政策の抜本的見直しを求める意見書(要旨)

いま国際社会では、日本の原発事故を契機に原発の見直しが進みつつあり、イタリア、ドイツでは脱原発へと

かじがきられている。

滋賀県は原子力発電所が集中する福井県と隣接しており、本町も福井の原子力発電所や、美浜や敦賀原子力発電所及び「ふげん」「もんじゅ」から80キロ圏内に位置している。

また、琵琶湖の水は近畿1,400万人の飲料水であるだけに、緊急かつ切実な課題である。よって政府におかれては、次の事項について万全の措置を講じられるよう強く求める。

記

一、原発依存のエネルギー政策を見直し、原発に替わるエネルギーへの転換と普及促進、省エネルギー社会への転換をはかること。

議会基本条例制定特別委員会

8月22日に委員会を開催、今期最後の特別委員会となりました。

6月議会で制定された議会基本条例に基づく今後の取り組みについて議論をしました。

特に、議会基本条例の施行後において、条例の趣旨に則った継続した取り組みを求める意見が多く出ました。

また、反問権が執行部側に与えられたことにより、反問権の範囲や解釈について議論をしました。議会基本条例の解説に示した「質問に対して論点の整理や質問の主旨を明確にするために、逆質問ができる。」により運用していくことを確認しました。

次に、一般質問において再々質問までが認められているが、議論の深まりや納得のいく回答が得られないなど、未消化に終わることがあり、これを改めるべき

との意見がありました。今後、継続して検討することになりました。

次に、開かれた議会への改善方策として、本会議委員会における傍聴者への資料公開については

① 本会議における一般質問時の資料公開は、質問項目のみとする。

② 本会議での一般質問を除く議事資料の公開は、議員に配布の資料を全面的に提供する。(ただし、閲覧とする。)

③ 委員会での審議、説明資料の公開は閲覧のみとし、原則として全面的に提供す

地域創生まちづくり特別委員会

本委員会は、去る8月24日に今期最後の委員会を開催しました。

① 県有地(岡屋工業団地)について
現在、開発から分譲開始

る。(ただし、議長および委員長の判断により非公開とする場合もある。)

④ 委員会の開催日程および審議事項について、可能な限り事前公開とする。

最後に、町民の様々な意見を聴く機会を設けることについての方法や内容は、次期議会において検討していただくよう、引き続きことになりました。

議会基本条例

制定特別委員会

委員長	蔵口嘉寿男
副委員長	小森重剛
委員	岡司重夫
	貴多正幸
	大橋 弘
	村田通男
	菱田三男
	山田義明
	山添勝之
	岡山富男
	若井敏子



岡屋工業団地の文化財調査

② I B M跡地開発の現状について

前回の委員会からはほとんど進展していません。しかし、I B M本社より連絡があり、現場事業者と協議し、その後竜王町に協議内容について報告するとの

連絡があったとのことでした。

地域創生まちづくり特別委員会

委員長	山添勝之
副委員長	小森重剛
委員	岡司重夫
	山田義明
	岡山富男
	大橋 弘

教育民生常任委員会

8月25日に委員会開催しました。

所管事務調査として本年4月から開所されたふれあい相談発達支援センターの現状について説明を受けました。

7月末までの相談件数は、18歳未満が324件、18歳以上が45件あり、18歳未満では、性格・行動・集団不適応に関することや不登校、認知発達に関する相談が多くあるとの説明を受けました。

また、7月末現在でケース会議や連絡会議などを280回開催し、ふれあい相談発達支援センターの円

滑な運営に取り組んでいる現状の説明がありました。

相談者の実人数は何人かとの質問に対して、しっかりと把握していないが約80人との回答がありました。

さらに、相談業務に従事している職員に負担がかかり過ぎないよう、人員配置等に配慮して相談業務に対応されるよう意見を付して委員会を終えました。

教育民生常任委員会

委員長	貴多正幸
副委員長	若井敏子
委員	大橋 弘
	村田通男
	山添勝之
	蔵口嘉寿男

みなさんの声を市政に届けます

一 般 質 問

6議員が13問

①幼稚園、小・中学校の猛暑対策について

蔵口嘉寿男議員

②大型商業施設を生かした産業振興について

山田 義明議員

③竜王町学校支援地域本部活動について

山添 勝之議員

④河川堤外の竹木伐採後の維持管理は

小森 重剛議員

⑤ふるさと竜王夏まつりについて

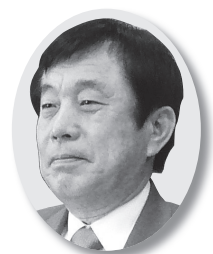
貴多 正幸議員

⑥住宅リフォーム助成制度の導入を

若井 敏子議員

答 竜王小学校の大規模改修を皮切りに、順次、学校の改修に併せてエアコン設置の計画をしていることから、平成23年度当初

問 幼稚園、小・中学校における猛暑対策として、冷房設備の設置を望む声が早くから上がっている。猛暑対策として、各教室に扇風機を含めた整備をするとの計画で、業者見積りがされたが、進展せず立ち消えになったと聞いている。何故、実施の目的が立たなかったのか、また、この対策は6月頃から必要対策であるのに、何故、平成23年度当初予算に盛り込まれなかったのか伺う。



蔵口嘉寿男議員

予算に計上しませんでした。今年7月15日の教室での気温は、竜王の両幼稚園で34℃、竜王小学校1階で35℃、竜王西小学校2階と竜王中学校3階で36℃を記録しました。これらの猛暑を踏まえ、エアコンが設置される当面の間、せめて不足する扇風機の設置を計画し、業者に参考見積もりを依頼しました。扇風機設置は、8月定例会に補正予算が認められ、可決しても最短でも期間中に設置が見込めないことや、今後のエアコン

幼稚園、小・中学校の猛暑対策について
来期に冷房設備を設置します



教室に扇風機が「やっぱりクーラーがいいなあ」

今の整備計画から二重投資という側面があり、今回整備を見合わせました。今後、社会的な潮流や保護者からエアコン設置を求める声が高まっていることから、来期に学校の冷房設備を設置する計画です。



山田義明議員

大型商業施設を生かした産業振興について 取り組み成果が出ています

問

年間400万人以上の来客者が予想されていた大型商業施設アウトレットモールが開業してから早や一年余が経った。

この来客者を竜王町内に取り込み竜王町のリーダーとなっていただけの手立てについて昨年の3月定例会で質問しましたが、一年経った今日どのような計画の下、どのような成果が得られたのか、反省や今後の取り組みについて伺う。

答

商業施設内に観光協会の窓口を設け、町の自然や文化に触れていただく観光パンフの設置、イベントや果樹等の特産品のPRポスターを毎月掲示すると共に、ゆるキャラ「近江うし丸」によ

るPR等も行い、月2回の「竜王マルシェ」で果樹や新鮮野菜等の販売およびPRを行い町内2カ所の直売所への誘客に努めました。その結果、今年の1～6月では道の駅で前年比115%の売上げ、アグリパークでは118%の売上げとなりました。

町内農産物を活用した商品開発では、米粉シフォンケーキ、ジャム等12品目を開発しましたが本格的にはさらに工夫が必要です。加工所との共同開発では黒ダイズを使用したサブレ、ほうじ茶等19品目の商品化を実現しました。

竜王の観光の目玉商品は観光果樹園で、H22年度は前年比105%でした。



にぎわう「竜王マルシェ」(アウトレットで)

今後は、今日まで訪れた観光客の固定化と観光客からの口コミで拡がる観光客を確保するため、これまで以上に観光協会や町内の観光施設からの情報発信と旅行会社や情報誌への情報提供を増やします。果樹生産者の高齢化対策についても後継者の育成と掘り起こしに努めます。

問

「みんなで支える学校・園! みんなで育てる子どもたち」をキャッチフレーズに竜王町教育委員会では学校支援地域本部活動をされていると聞か、竜王らしさはあるのか。その目的、活動について伺う。

答

学校支援地域本部の目的は、学校を支援するため、地域住民をボランティアとして「学校が支援を求めるもの」と「地域の方々の経験や知識等の情報」を繋ぐことで、学校の充実と共に地域社会の教育力の向上を目指すものです。

授業の応援、行事支援、環境整備等の活動です。家庭科支援では教師から「お蔭できめ細かな授業が



山添勝之議員

竜王町学校支援地域本部活動について 公民館を拠点に「学校・家庭・地域の連携」を図り推進します

できる」と喜ばれています。当町の特徴は人づくり・まちづくり拠点の公民館事業として位置付けたことです。これらの連携は地域やまちづくりの課題であり、社会全体の教育力向上を目指すものと考え、様々な世代の方々が活動により交流し、新たな仲間づくりを進め、

公民館での学習成果を学校支援に生かすことで社会貢献を促し、一層の学習意欲向上や地域活動の指導者へと活動範囲を広げ、地域活性化へと好循環を作り出すことを目指しています。

またスクールガイド等の活動を通して、子どもと大人の顔がみえる関係



「5年生の家庭科の授業」運針実習にて

一般質問



小森重剛議員

問

日野川、祖父川の河道内に繁茂している竹木の伐採を県の事業で行ってもらっている。

しかし、その後の維持管理が出来ておらず、元の木阿弥となっている。何らかの方策を打ち出すべきではないか。

また県は竹木の伐採後5年間は地域で維持管理するとされているが、地域での対応には限度があり、到底対応できない。町は今後の管理策および援助策について提示する考えはあるのか。

答

県では、河川愛護活動の活性化のため「ふるさとの川づくり協働事業」を展開されています。

河川堤外の竹木伐採後の維持管理は？

地域活動支援事業の継続を県に求めています！

その内容は「河川愛護活動」、「地域活動支援」、「河川管理パートナー」の3本柱で、河川愛護活動は、地域が行う「除草」、「川ざらえ」、「竹木の伐採・管理」等、河川の維持管理に対して、市町を介して費用助成されるものです。

地域活動支援では竹木の伐採を行った後は、地域で河川愛護活動事業の「竹木の伐採・管理」に取り組み、竹木の発生を抑えるための活動を願うとされています。

しかし、住民対応には限度があり、地



(着工前)



(着工後)

問

ふるさと竜王夏まつりは、財政健全化の取り組みとして、隔年開催となったが、竜王町行財政改革推進委員会の答申、また、夏まつり当日の盛り上がりを見て、そのあり方について考えを伺う。

答

「ふるさと竜王夏まつり」については、平成5年から町観光協会と町商工会が中心となり、地域・団体・企業と連携した実行委員会体制により、町補助金や地元企業の協賛金をもって創意工夫のもと実施されてきました。財政健全化の取り組みの中で、この事業についても評価・見直しを行い、補助金の削減をしながら補助金の予算化を隔年にすることをしました。



貴多正幸議員

ふるさと竜王夏まつりについて 町としては隔年補助とさせていただけます

その後、町行財政改革推進委員会へ諮問したところ、「夏まつりは町民が一堂に集う場であり、地域の活性化と活力を生み出し、住民主体で成功に導く事業である。経費の捻出等を含め実行委員会等で検討し毎年開催されることが望ましい」との答申をいただきました。

今年の夏まつりは、例年の目的である

家族との絆やふるさと再発見、地域連帯感の結びつき、未来を担う子ども達の思い出づくりに加え、東日本大震災復興への祈りと支援を目的に、青年団やまちづくりチャレンジ



“夏まつり町民総おどり”のようす

こんな質問もしました

山添勝之議員

問

小口地先M社の調整池は浄化のためなのか、草は繁り、水は濁っているが池の役割を果たしているのか。また池や排水口の水質検査はしているのか伺う。

答

調整池の機能は洪水調整機能であり、通常はほとんど流出していません。調整池の水質検査は行っておりませんが、排水口では5月と11月の年2回、22項目にわたって実施しています。結果は過去全て基準値以内です。

問

鏡山散策道と展望台の再整備を。大型商業施設来訪者を取り込む方策を考えるべきだが。

答

当該地は林野庁管轄で国有林の保安林であることから、町独自での計画伐採等を行

うことは出来ません。今後森林管理署と相談もしながら善処します。商業施設への来訪者対策については、アウトドア用品販売店とイベント開催等を計画協議しています。

住宅リフォーム助成制度の導入を人口増加策として検討する必要があります



若井敏子議員



住宅リフォーム「和室が洋室に生まれかわります」

問

竜王町の経済の動きをどのように分析されているか。地域おこしの典型だと言われている住宅リフォーム助成制度の導入についてのお考えを伺う。住宅リフォーム助成は、投資額の10倍の経済効果があると言われている。その上、補助金を受けられる対象の範囲が広く、また補助を受けた人の先にいる関連事業者の裾野も広いため、広範囲にわたって地域経済を刺激すると言われていて、制度導入について改めて伺う。

答

町内事業所の状況ですが、平成22年4月から23年8月までのセーフティネット保障制度の利用は103件で、そのうち建設業が44%です。商工会の調査でも建設業、製造業の売り上げは前年度比でマイナスとなっていました。住宅リフォーム助成制度は平成21年に実施しました。その際の実績では、286万円の投資で4,152万円、14倍の経済効果がありました。

住宅リフォーム助成については商工会幹部と何回となく話し合いをさせていただいたが皆様のご意見はプレミアム商品券を続けてほしいということでありました。

町として定住人口の増加を図るための住宅施策として、また既存住宅に機能向上を図るためにも住宅リフォーム制度の導入を検討する必要がありますと考えています。



鏡山ハイキングコース

その他質問

問

教育基本法が改正され新しい学習指導要領のもとでの初めての中学校教科書が採択される。

竜王町教育委員会は自らの責任と判断で採択したのか伺う。中学歴史、公民の教科書出版社はどこに決まったのか。

答

教育委員会は専門的知識を有する研究員による調査結果と選定審議会の検討結果を受け、非公開で何ら不当介入もなく採択しました。出版社名は9月1日以降の発表となります。

問

第五次竜王町総合計画に謳われている「人」という概念の中にあって、「中心核」がどのように位置づけられているのか伺う。

答

本町は各集落や公共施設が分散型のネットワークで繋がっています。それを有機的

に束ねてまちづくり・地域づくりを発信・形成していく中心拠点としてタウンセンターを位置付けております。

竜王のまちや、町民の自律と絆の創出に向けて触れ合いと交流を育み、よりどころとなる機能を備えたエリアと位置づけています。

若井敏子議員

問

原発災害から町民を守るために福島原発事故から5ヶ月以上経過したが、先の見えない状況下に現地では厳しい生活を強いられている。子を持つ母親として一日でも早く安心して住める町を求めるものですが、こんなことが二度と起こらないように、竜王町としての考え方、町の対応について伺う。

答

原子力災害は多くの不安や危機、苦しみ、課題を突きつけ、風評被害もあります。

問

「子育てするなら竜王で」と言われる町にしませんか。

近隣と比べて竜王の子育て支援はどう違うか、比較して欲しい。医療費補助を願う声は大きい。中学卒業までの通院も含めると医療費補助はいくらかかるか。給食費の無料化についても検討いただきたい。

答

他町では出産祝い金制度があります。

竜王では、ひとり親家庭や障害児を養育する保護者への福祉年金支給、こどもひろば、ふれあい相談発達

支援センターの取り組みなど、他町にはない支援があります。医療費助成については中

学生まで入院通院の助成をすると2,600万円、給食費無料化には5,200万円かかります。



こどもひろば

問

中高年の歯が大変気になるが、40歳から60歳くらいの方たちは仕事が忙しいなど、受診されない傾向があるのではないかと。歯科検診の受診状況と無料で診察してもらえる制度はないか伺う。

答

歯科検診は平成19年度の調査で1/3が受診しています。3年前と比べると12・7ポイントの増です。集団による成人の歯科検診は年一回実施していますが、平成16年から今年度までに145人が受診しています。国保加入者と70歳以上は無料です。歯科の診察についての無料制度はありません。

人事案件

八月の定例会に提案された人事案件は次の通りで、議会はすべてに同意・適任と認めました。

竜王町教育委員会委員の任命に同意

平田保則氏

竜王町教育委員会委員の任命に同意

松瀬忠幸氏

竜王町公平委員会委員の選任に同意

久野澄子氏

人権擁護委員の候補者として適任者と認める

永岡孝信氏

おーい、おーい、おーい人生

林在住 友實 ともざね 富義 とみよし さん

人生の重みを わら細工に託して

京都で剣道の竹刀作りを学び、竜王に来てからも製材所に籍をおいて竹刀作りをしていた。希望が丘文化公園の完成記念式典の際、自分の作った竹刀が特注の布袋に入れられて、行啓された皇太子殿下への献上品となったことは一生の誇りで思い出となっている。

近所に文化協会の役員さんがいて、その人に声をかけられ、平成2年の文月発表会にわら細工を出品したことをきっかけに、近江わら細工伝統工芸保存会のメンバーにもなって、しめ縄や草履、宝船干支などたくさん作品を作ることになった。

干支のネズミには中に発砲スチロールが入っている。膨らみをどうして作るかアイデアも発想も必要になる。作品作りは保存会のメンバーでいろいろ研究する研究と発見がやる気を増幅させてくれるので歳を忘れてしまう。

今は町の公民館教室やアグリパーク、



作品に囲まれてしめなわ作りをする友實さん

道の駅でそれぞれ年2〜3回しめ縄や干支作りの展示や教室の開催、農政局からの要請で子どもわら細工教室の講師を勤めたり、大阪からも依頼があつて出かけるなど、結構忙しい日々を送っている。妻はそんな私を「自由気ままな人」と笑っているが、大阪に行くときなど「一緒に行くのか」と言うといつて来てくれるし、作品作りに欠かせない稲わらを刈り取る時などは慣れない手つきで、鎌を持って田んぼに入ってくれる。ありがたいと思っている。いつまでも好きなことができる人生を楽しみたいと思っている。

(聞き手 若井敏子)

編集後記

議会基本条例が定められて、議員の仕事が町民皆さんによく見えるようにしていくことが、求められています。議会での質問だけでなく、日常的な活動についても広報でお知らせしていくことが大切だと感じています。

竜王町議会第十四期の議員が皆さんにお届けする議会だよりは今回が最後となります。つたない文章で広報の役割を十分に果たせたか、いささか

疑問な点もありますが、「いつも読んでいますよ」という声に励まされて発行してきました。

これからは十五期の議員さんに期待をしてバトンを渡します。よろしく。

議会広報特別委員会

委員長 若井 敏子

副委員長 山田 義明

委員 菱田 三男

村田 通男

寺島 健一

蔵口嘉寿男



第14期議会議員

竜王町議会広報

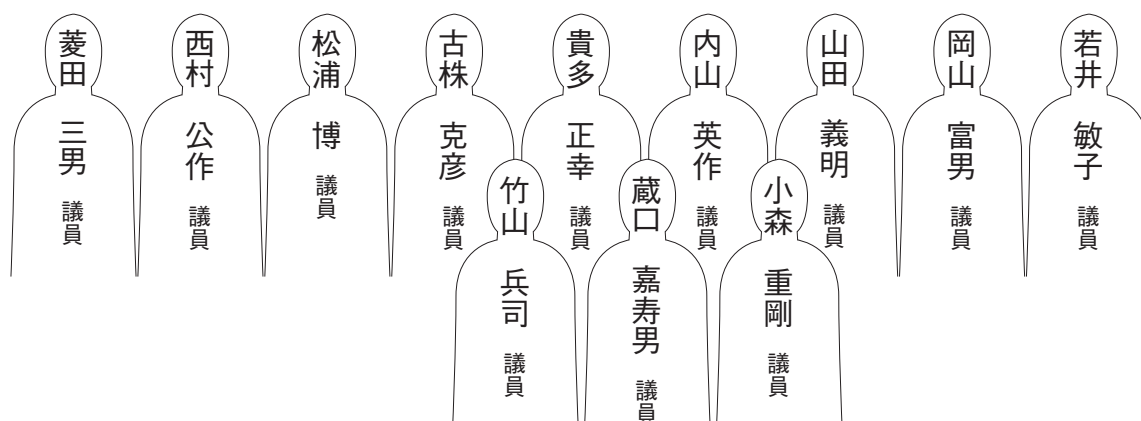
発行・竜王町議会
編集・議会広報特別委員会

〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3
(0748) 58-3713

第15期議員紹介



竜王町発展のために、頑張ります!!



竜王町議会議員職務一覧表

平成23年10月3日現在

	氏 名	議席	小森	竹山	若井	岡山	山田	内山	貴多	古株	松浦	西村	菱田	蔵口	計
			重剛	兵司	敏子	富男	義明	英作	正幸	克彦	博	公作	三男	嘉寿男	
	職 務		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	議長・副議長・監査委員	副				監								正	
	議会運営委員会	○					○		副			○	正		5
	総務産業建設常任委員会			○	副		正			○			○	○	6
	教育民生常任委員会	○				○		○	正		副	○			6
	議会広報特別委員会	○					副	正	○				○	○	6
	地域活性化特別委員会			○					○	正	○	副	○		6
	議会基本条例推進特別委員会	副		○	正	○	○	○	○	○	○	○	○		11
総	東近江行政組合議員					○								○	2
安	八日市布引ライフ組合議員			○						○					2
安	中部清掃組合議員				○						○				2
安	竜王町防災会議											○			1
安	竜王町地域安全推進協議会									○					1
政	竜王町総合基本計画審議会				○										1
政	野洲・湖南・竜王 総合調整協議会						○							○	2
政	篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会						○							○	2
政	竜王町公共交通対策協議会						○	○							2
政	びわこ空港建設東近江地域促進協議会						○							○	2
政	東海道新幹線湖東駅（仮称）設置推進協議会						○							○	2
住	竜王町国民健康保険運営協議会								○						1
福	竜王町民生委員推薦会				○			○							2
福	竜王町介護保険運営協議会								○						1
産	竜王町観光協会				○										1
建	竜王町都市計画審議会											○	○		2
建	竜王町上下水道事業運営委員会												○		1
建	日野川改修期成同盟会						○							○	2
建	名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会													○	1
建	（仮称）蒲生スマートインター建設促進期成同盟会													○	1
学	竜王町通学自動車運営委員会	○													1
生	竜王町青少年問題協議会										○				1
生	竜王町青少年育成町民会議	○													1
給	竜王町学校給食運営委員会					○									1
有	竜王町有線放送番組企画委員			○											1